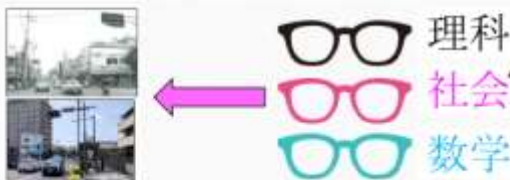


「深い学び」の鍵となる 見方・考え方 とは？

「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」とは？

各教科等の「見方・考え方」は、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。



生徒がその教科の見方・考え方を働かせられるように、教師が意図的に仕向けていく

2022年4月28日（水）第2回校内研修

「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ー各教科実践事例ー

第3学年理科 観察を通して図解する（課題・4時間）
（本時の目標）観察を通して図解する（課題・4時間）
（本時の目標）観察を通して図解する（課題・4時間）
（本時の目標）観察を通して図解する（課題・4時間）

「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ー各教科実践事例ー

第3学年理科 観察を通して図解する（課題・4時間）
（本時の目標）観察を通して図解する（課題・4時間）
（本時の目標）観察を通して図解する（課題・4時間）
（本時の目標）観察を通して図解する（課題・4時間）

栃木県総合教育センターの『「見方・考え方」を意識した授業づくり』によると、見方・考え方とは「**その教科ならではの物事を捉える視点や考え方**」とされています（眼鏡に例えられる事もあるようです）。ポイントは生徒がその教科の見方・考え方を働かせることができるよう、教師が意図的に仕向けていくことです。



上記の冊子を参考に各教科のワークシートを作成し、見方・考え方を働かせた授業づくりに挑戦しました。いつもの授業に「**生徒が見方・考え方をどのように働かせるのか**」という意識を**プラス**し、**見方・考え方を働かせている生徒の姿（思考が深まった姿）**を事前に思い描きながら授業を構想しました。